

匠の街春日部かわら版

発行 備コーワ
編集 共栄大学発ベンチャー
街かひのじゃごっこ
編集長 藤本有美

「春日部匠の輪」-58- 朝日さわやか連 連長 浦谷 博之 様



朝日さわやか連は、朝日新聞や東武朝日の読者の皆さんを中心に昭和63年7月に結成された連です。現在、子どもは4歳から大人は70歳代まで幅広い年齢層の約40人が在籍し、年間を通して阿波踊りを楽しんでいます。「個々の成長と楽しさ、元気の踊り」を目指して、毎年夏に開催される「南越谷阿波踊り」をはじめ、地域のお祭りにも参加し、練習の成果を披露しています。練習は年間を通じて行い、地域のイベント活動や福祉施設への慰問活動にも積極的に取り組み、地域振興に寄与する活動を展開されています。

踊りのグループを「連」と呼び、三味線・笛・鉦・太鼓などの鳴り物の軽快なリズムに合わせて豪快に踊る男踊り、優雅で華麗に踊る女踊り、可愛らしく元気いっぱい踊る子ども踊りで構成されています。最初は事務局・会計として従事していましたが、見ているだけよりも踊りに参加したいと思うたことがきっかけとなり、鳴り物等を経て連長となり連をまとめたいと思っています。



浦谷さんは連長になられて今年で3年目を迎えます。

朝日さわやか連が南越谷阿波踊りに参加して今年で30周年となり、来年は創立30周年を迎えます。節目の年を迎えるにあたり、新たな試みも考えていることとことです。



浦谷さんは「阿波踊りの技術向上はもちろん、まずは阿波踊りを楽しむこと」を第一に考え、踊りを通して観客の皆さんにも阿波踊りの魅力を伝えられればと思っています。「と熱く語ってくださいました。」

4月に「春日部藤まつり」、8月には、「南越谷阿波踊り」と出演イベントが目白押しです。現在、さわやか連では連員を募集中です。練習日には「阿波踊り無料体験会」を実施中です。お気軽にご参加ください。【お問合せ先】練習日会場など詳細については浦谷まで TEL 090-1034-9614

記事内のQRコードをスマホで読み込んでいただくとインタビュ動画をご覧いただけます。(有美)

プログラミング Scratch Raspberry Pi プログラミング BASIC デザイナー 3Dプリンター Tシャツ 毎年絵画印刷 電子工作 IchigoJam ロボット製作
好きなこと夢中!
ICT活用の起業家教育 キッズコンピュータリテラシー
毎月第3土曜日共栄大学で開催中

大人のパソコン教室～困ったときのパソコン相談～
異業種交流 ネットショップ 商品開発
随時受付中
コンピュータリテラシー
毎週水曜日 15時～16時30分共栄大学で開催中
お申し込み・お問い合わせは info@kaisyagokko.com へ、メールをお願いします。

「歴史を歩く」第五十三話 「蛍の光」の作詞者 稲垣千穎



稲垣千穎

「蛍の光」はかつて、「仰げば尊し」のように全国の学校の卒業式で歌われた文部省唱歌であった。今日ではむしろ、大晦日恒例の「NHK紅白歌合戦」の最後を飾る大合唱の歌としてよく知られている。原曲はスコットランド民謡の「オールド・ラング・ザイン」(Old long since II はるか昔)で、旧友と再会し思い出話をしつつ酒を酌み交わすといった内容で、地元スコットランドでは年の初めや結婚披露宴、誕生日などさまざまな会場で歌われているそうである。日本では、明治十四年(一八八



桜の棚倉城内堀

して、「本朝文範」や「和文読本」など当時ベストセラーとなった多くの古典教科書の編纂に携わった。明治十三年、東京師範学校校長で音楽取調掛長を兼務していた伊沢修二(近代日本の音楽教育の第一人者)の要請により音楽取調掛に就任し、日本最初の音楽教科書「小学唱歌集」の作詞に携わり、「小学唱歌集」の作詞に携わり、「蛍の光」を作詞した。後に伊沢修二は次のように述懐している。「西洋の曲に日本語の唱歌を付けることにしたが、これは大変な仕事であった。曲意に合った歌を作るといっただけでなく、句数数字が合わなければ、どのような名歌を作っても何の役に立たない。最初に稲垣千穎氏が盡力してくれたが、この人は歌が上手で随分

多くの作詞がある。」
稲垣千穎は明治一七年に東京師範学校教諭を辞職し、その後は国語辞書「言海」の編纂者、大槻文彦の後継者として東京府下谷区(現台東区)の第一代教育会会長に就任し、大正二年(一九一三)に六七歳で逝去した。
【筆者紹介】
内藤徹雄。共栄大学名誉教授(元副学長)、全国歴史研究会会長、専門は国際経済、国際金融。中学時代より「趣味は歴史」を貫き、現在も歴史探訪を続ける。

春日部食通家③ 養老乃瀧 春日部東口店

春日部駅東口から徒歩約1分とアクセスの良い場所に「養老乃瀧 春日部東口店」はあります。店長の本田さんが平成11年5月にオープンし、今年で18年目を迎えます。カウンター席、テーブル席、お座敷と、とても広くて綺麗な店内です。

本田さんおすすめの春日部東口店限定「春日部やきそば」をいただきます。具材たっぷりのとろりとしたあんかけ焼きそばの上に「藤」をイメージした「紫しそ」がトッピングされています。あんかけのタレと紫しその相性が抜群で食欲をそそります。養老乃瀧他店では食べられないメニューなので、春日部東口店にいらした際はぜひ、注文してみてください。

イチオシのお酒は、養老乃瀧オリジナル商品の「バクハイ」です。「一杯飲んで夢を見て」、二杯飲んで夢を語り、三杯飲んで夢の中」というユニークなキャッチ



チノビーが魅力的です。味は、生ビール×ウイスキーでさっぱりとした飲み口となっています。



3月3日(金)～5日(日)に開催される「粕壁さくらバル」に養老乃瀧東口店さんも参加されます。「粕壁さくらバル」とは春日部駅東口をバルチケットで楽しく呑み歩き、食べ歩きするイベントです。チケット金額は400円×8枚組で3,200円(前売3,000円)前売券の販売は、2月初旬から2月28日までとなっています。バルチケットは前売券がお得なので、お早めにお買い求めください。



養老乃瀧東口店さんのバルメニューは、「さくらバル特製桜工」と刺身の4点盛り、「生ビール」他「2チケット」と大変お得な特別メニューとなっています。



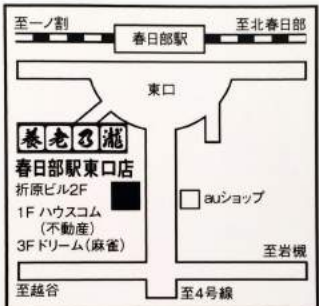
「おひとり様から御宴会(4～40名様)まで幅広いお客様をお待ちしています。」と素敵な笑顔でお話ししてくださいました。(御宴会は電話にて事前予約をお願いいたします。)

地元の方はぜひ、アクセスも良くリーズナブルなメニューが豊富な養老乃瀧東口店に仕事帰りや週末訪れてみてはいかがでしょうか。(ゆかいしゃんこ 有美)

養老乃瀧 春日部東口店

春日部市粕壁 1-1-4(折原ビル2階)
TEL:048-763-9560

【営業時間】16:00～24:00
【定休日】不定休



第20回キッズICTスクールレポート

共栄大学で毎月第3土曜日開催のキッズICTスクール。2017年最初の授業は1月21日(土)に開講されました。

午前中は、最近のICT事情についてお話ししたり、タイピング練習や、「Scratch」でゲーム体験を行いました。



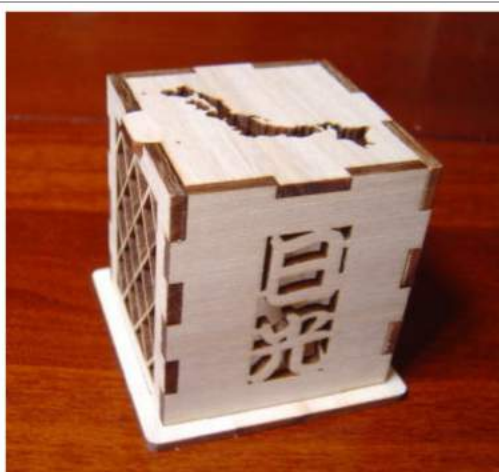
午後は、プログラミング、デザイン、3D、動画編集など、コース別に分かれてお子さんたちが興味のある分野を集中的に体験しました。

次回のキッズICTスクールは2月18日(土)となります。4月からは有料コース新設予定です。

お申込み・お問い合わせは随時受付中です。詳細は表面下の募集広告をご覧ください。(ゆかいしゃんこ 有美)

ICT活用最前線⑯ 日光ICT都市化 研究所の取り組み

前号で90歳のパソコン大好きの高島さんをご紹介しました。日光ICT都市化研究所の講習会場として自宅を開放した高島寺子屋塾講習会では、生活を楽しむためのコンピュータ活用を中心に活動している。124回目となる1月は、アドビイラストレーターでデザインを行い、レジンでオリジナルキーホルダーの中に文字を埋め込む講習を行っていた。



た。

【今までの講習内容は?】

・レーザーカッター →写真参照

・ネットショップ

・ホームページ作成

・ブログ作成と書き方

・オリジナル缶バッジ作成

・プログラム

・カレンダー作り

・ミニコミの取材

・陶芸

・紙漉きから絵手紙、ネット公開

・リリース作成

・動画撮影と編集

・デジカメとネット発信

・子供パソコンイチャイチャム

・オリジナルジグソーパズル作成

・昇華転写でTシャツ作成
・ミニのぼりデザイン作成
・レジンキーホルダー作成

124回毎回違う内容で行っているようですが、モノづくりがほとんど、生活を楽しむ講習です。

講習の無い日は、テレビ電話でSNS、日光の自宅から大学生と交流している。いろいろな話題で盛り上がり、学生たちは普段は見せないような笑顔で会話を楽しむ。18歳の女子学生たちと90歳の先輩が共通の話題で会話、ICT社会の夢を、人生経験を熱く語る。

人生を楽しむパソコンの使い方の匠、高島さんには感嘆するばかりである。これからもいろいろ



なことに挑戦し、私たちにSNSでのアドバイスを期待しています。

※日光ICT都市化研究所は、日光市と共栄大学との連携協定により共栄大学海老原研究室に設置。日光のICT講習会は共栄大学学発ベンチャー有限会社「ゆかいしゃんこ」が担当、毎月1回開催中。(共栄大学教授 海老原武)